



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年2月8日

上場会社名 藤久株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 9966 URL <http://www.fujikyu-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 薫徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 樹神 雄二 TEL 052-774-1181
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 平成29年3月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の業績（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	10,345	△1.0	△107	—	△104	—	△167	—
28年6月期第2四半期	10,449	△1.4	△159	—	△158	—	△191	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	△39.79	—
28年6月期第2四半期	△45.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	16,694	12,025	72.0
28年6月期	16,496	12,206	74.0

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 12,025百万円 28年6月期 12,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	16.00	—	10.00	26.00
29年6月期	—	10.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年6月期の業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,943	0.7	332	22.1	342	21.9	18	—	4.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期2Q	4,205,000株	28年6月期	4,205,000株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	310株	28年6月期	310株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期2Q	4,204,690株	28年6月期2Q	4,204,701株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
事業部門別・商品区分別売上高等の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における店舗展開につきましては、新規出店では、新業態となるキャラクター手芸専門店「キャランキャラン」1店舗を広島県に開設しましたほか、「クラフトハートトーカー」8店舗及び「サントレーム」1店舗の合計10店舗を開設しました。一方、退店では「クラフトハートトーカー」6店舗、「クラフトパーク」1店舗及び「サントレーム」2店舗の合計9店舗を閉鎖しました。この結果、当第2四半期会計期間末の総店舗数は497店舗となりました。

店舗販売部門につきましては、既存店の立て直しを最重要課題として取り組みました。手芸専門店では、ビーズ及びUVレジン関連商品の販売強化を図るため、それらの商品群を地域最大級に取り揃えた「ビーズスタジオ」を5店舗に導入しましたほか、「教えること」の新たな展開として、ニットデザイナー岡本啓子氏の監修による編み物教室「岡本啓子ニットスタジオ」を17店舗に導入しました。また、生活雑貨専門店では、ギフト提案の強化やコンセプトショップの開発に取り組みましたほか、キャラクター商品の拡充を推進しました。商品区分別売上高では、生地、和洋裁服飾品及び衣料品は前年同四半期を上回りましたものの、糸糸、手芸用品及び生活雑貨が前年同四半期を下回りました。これらの結果、当部門の売上高は、97億52百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

通信販売部門につきましては、出店先電子モールの大型イベント開催時期に合わせて販促を強化し、売上の増大を図るとともに、店舗販売部門と連携し新規顧客の獲得を図りました。また、広告宣伝費は効率的な使用に努めました。商品区分別売上高では、衣料品は前年同四半期を下回りましたものの、糸糸、手芸用品、生地、和洋裁服飾品及び生活雑貨が前年同四半期を上回りました。これらの結果、当部門の売上高は5億72百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

その他の部門の内容は不動産賃貸であり、売上高は20百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は103億45百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、利益面では、営業損失は1億7百万円（前年同四半期1億59百万円の営業損失）、経常損失1億4百万円（前年同四半期1億58百万円の経常損失）、四半期純損失は1億67百万円（前年同四半期1億91百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億97百万円増加し、166億94百万円となりました。流動資産は2億42百万円増加し、固定資産は45百万円減少しております。流動資産の増加は、主に現金及び預金が2億94百万円減少しましたものの、商品が3億71百万円、その他に含まれております営業未収入金が1億61百万円とそれぞれ増加しましたことによるものであり、固定資産の減少は、主に差入保証金が67百万円減少しましたことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ3億77百万円増加し、46億68百万円となりました。流動負債は4億2百万円増加し、固定負債は24百万円減少しております。流動負債の増加は、主にその他に含まれております未払金が1億17百万円減少しましたものの、支払手形及び買掛金が5億66百万円増加しましたことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ1億80百万円減少し、120億25百万円となりました。主に利益剰余金が2億9百万円減少しましたことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ2億94百万円減少し、43億61百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3百万円(前年同四半期は使用した資金が53百万円)となりました。主なプラス要因は、仕入債務の増加額5億66百万円、減価償却費1億96百万円であります。主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額3億73百万円、営業未収入金の増加額1億61百万円、税引前四半期純損失1億30百万円、未払金の減少額1億9百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億30百万円(前年同四半期比18百万円増)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出93百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円、資産除去債務の履行による支出18百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億67百万円(前年同四半期比38百万円減)となりました。これは、リース債務の返済による支出1億25百万円、配当金の支払額42百万円であります。

(3)業績予測などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向を勘案し、下期計画を見直しました結果、通期の業績予想を修正しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,735,849	4,441,683
受取手形及び売掛金	179,806	171,590
商品	5,628,148	5,999,236
貯蔵品	528	2,568
その他	820,631	992,989
貸倒引当金	△1,255	△1,530
流動資産合計	11,363,708	11,606,539
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	795,063	814,258
土地	1,601,123	1,601,123
リース資産(純額)	531,302	499,865
その他(純額)	95,530	95,950
有形固定資産合計	3,023,020	3,011,197
無形固定資産	70,416	81,286
投資その他の資産		
差入保証金	1,743,526	1,676,396
その他	296,318	318,879
投資その他の資産合計	2,039,845	1,995,276
固定資産合計	5,133,282	5,087,760
資産合計	16,496,990	16,694,300

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,685,735	2,252,391
リース債務	223,983	208,931
未払法人税等	129,140	121,162
賞与引当金	40,130	36,586
ポイント引当金	54,927	53,116
資産除去債務	16,425	25,404
その他	981,771	836,589
流動負債合計	3,132,112	3,534,181
固定負債		
リース債務	317,826	300,454
役員退職慰労引当金	216,096	224,486
資産除去債務	333,846	328,856
その他	290,960	280,662
固定負債合計	1,158,729	1,134,459
負債合計	4,290,842	4,668,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,375,850	2,375,850
資本剰余金	56,080	56,080
利益剰余金	9,772,273	9,562,918
自己株式	△771	△771
株主資本合計	12,203,432	11,994,076
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,715	31,582
評価・換算差額等合計	2,715	31,582
純資産合計	12,206,148	12,025,659
負債純資産合計	16,496,990	16,694,300

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,449,141	10,345,782
売上原価	3,917,945	3,883,655
売上総利益	6,531,195	6,462,127
販売費及び一般管理費	6,690,973	6,569,934
営業損失(△)	△159,778	△107,807
営業外収益		
受取利息	942	480
受取配当金	713	713
協賛金収入	1,750	1,300
受取手数料	2,870	3,690
その他	1,988	2,706
営業外収益合計	8,264	8,891
営業外費用		
支払利息	6,477	5,257
その他	120	130
営業外費用合計	6,597	5,387
経常損失(△)	△158,111	△104,304
特別利益		
固定資産売却益	6,989	829
受取補償金	2,844	897
特別利益合計	9,834	1,726
特別損失		
固定資産売却損	—	22
固定資産除却損	3,490	1,480
減損損失	8,407	16,366
店舗閉鎖損失	9,310	9,780
特別損失合計	21,208	27,649
税引前四半期純損失(△)	△169,485	△130,227
法人税、住民税及び事業税	69,935	70,094
法人税等調整額	△48,279	△33,013
法人税等合計	21,655	37,081
四半期純損失(△)	△191,140	△167,308

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△169,485	△130,227
減価償却費	212,454	196,524
減損損失	8,407	16,366
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,164	△3,544
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,565	△1,810
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,485	8,390
貸倒引当金の増減額(△は減少)	147	275
受取利息及び受取配当金	△1,655	△1,194
支払利息	6,477	5,257
固定資産売却損益(△は益)	△6,989	△806
固定資産除却損	3,490	1,480
売上債権の増減額(△は増加)	7,182	8,215
たな卸資産の増減額(△は増加)	△313,136	△373,128
営業未収入金の増減額(△は増加)	△86,411	△161,803
差入保証金の増減額(△は増加)	77,110	76,178
未払消費税等の増減額(△は減少)	△169,163	△31,416
仕入債務の増減額(△は減少)	502,801	566,656
未払金の増減額(△は減少)	△38,582	△109,846
その他	13,555	34,694
小計	42,957	100,261
利息及び配当金の受取額	1,135	769
利息の支払額	△6,477	△5,257
法人税等の支払額	△91,481	△92,538
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	187	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,679	3,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,067	△93,156
有形固定資産の売却による収入	6,040	1,457
無形固定資産の取得による支出	△3,774	△19,889
資産除去債務の履行による支出	△5,689	△18,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,491	△130,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△45	—
リース債務の返済による支出	△138,729	△125,004
配当金の支払額	△67,275	△42,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,049	△167,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△371,220	△294,165
現金及び現金同等物の期首残高	4,473,944	4,655,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,102,724	4,361,683

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

事業部門別・商品区分別売上高等の状況

① 事業部門別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成28年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
店舗販売部門	9,886,282	94.6	9,752,495	94.3	20,564,269	94.3
通信販売部門	539,172	5.2	572,704	5.5	1,191,745	5.5
その他の部門	23,685	0.2	20,582	0.2	44,477	0.2
合計	10,449,141	100.0	10,345,782	100.0	21,800,492	100.0

(注) 1 その他の部門は、不動産賃貸であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品区分別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成28年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
毛糸	598,340	5.7	590,261	5.7	1,078,292	5.0
手芸用品	2,927,338	28.0	2,872,406	27.8	5,896,199	27.0
生地	2,526,051	24.2	2,533,618	24.5	5,466,703	25.1
和洋裁服飾品	3,034,886	29.1	3,061,048	29.6	6,537,620	30.0
衣料品	335,283	3.2	329,174	3.2	661,605	3.0
生活雑貨	566,095	5.4	512,649	4.9	1,216,511	5.6
その他	461,144	4.4	446,623	4.3	943,559	4.3
合計	10,449,141	100.0	10,345,782	100.0	21,800,492	100.0

(注) 1 その他は、主に会員制による入会金の収入であります。

2 和洋裁服飾品の区分には、ミシンが含まれております。

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 業態別店舗数の状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)			(参考)前事業年度 (平成28年6月期)		
	出店	退店	四半期末	出店	退店	四半期末	出店	退店	期末
クラフトハートトーカーイ	13	5	421	8	6	421	22	16	419
クラフトワールド	—	—	2	—	—	2	—	—	2
クラフトパーク	2	1	43	—	1	42	2	1	43
クラフトループ	—	1	4	—	—	4	—	1	4
キャランキャラン	—	—	—	1	—	1	—	—	—
サントレーム	2	1	29	1	2	27	2	2	28
合計	17	8	499	10	9	497	26	20	496

(注) 「クラフトハートトーカーイ」、「クラフトワールド」、「クラフトパーク」、「クラフトループ」及び「キャランキャラン」は、手芸専門店であり、「サントレーム」は生活雑貨専門店であります。